



TAP-T TAP-Tリバース

Perfection is smiling in your sleep.

TAP-T/TAP-Tリバース 製作マニュアル



TAP-T



TAP-T Reverse

Instruction manual for TAP®-T and TAP®-T Reverse

The device for treating snoring and sleep apnea

- individually custom-made
- continuously variable
- lateral mobility
- delicate and break-resistant
- very comfortable to wear
- long-standing clinical experience

必要器材・材料 推奨材料 リスト



構成咬合位採得用バイトフォーク
ジョージゲージキット



光重合タイプ ブロックアウト用レジン
ブルーブロッカー



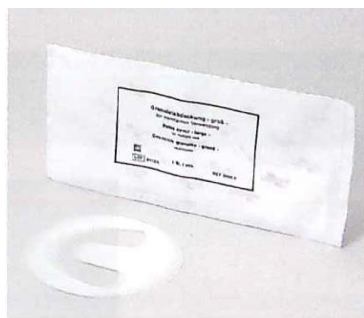
ブロックアウト用 パテ
シルキット（シリコンタイプ）
ブロッキングアウトパテ（粘土タイプ）



即時重合レジン
オーソクリスタル



技工用バーセット
フィニッシングバーセット



シリコン樹脂製
ペレットカバー



1.



ジョーシゲージを使用して採得した構成咬合位（最大前方移動量の50%が目安）で、模型をフィグゼーター、もしくは咬合器にマウントします。

ヒント：

正中が合っていない場合は、上顎の正中を基準に咬合採得を行って下さい。

2.



模型が壊れるのを防ぐため、またTAP-T装置の着脱を容易にするため、あらかじめ模型上のアンダーカットの大きい部分を、シルキットもしくはスティッキーワックスなどでブロックアウトします。

3.



0.1ミリの分離用シート、イソフォランフォイルを、通法に従って上下顎模型にそれぞれプレスします。

プレスしたイソフォランフォイルは模型に被せたまま、模型の底面でカットします。

4.



次にスプリント用のシート、デュラソフトをプレスする準備として、歯冠部や咬合面に数ヶ所切れ込み入れ、エアーの抜け道を確保します。

ヒント：

模型は繰り返し使用しますので、イソフォランフォイルを模型から剥がさないようにして下さい。

5.



模型をステンレスペレットに埋没し、シリコン樹脂製のペレットカバーをセットします。

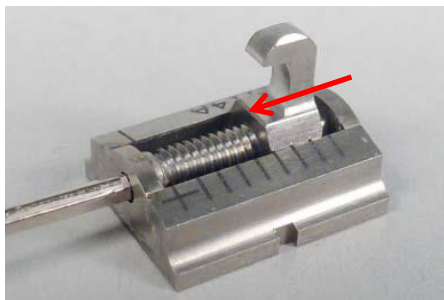
これにより、ステンレスペレットが圧接するプレートに付着する量を最小限に抑えることができます。

6.



ニューデュラソフトPD(2.5mm)を通法により模型上にプレスし、カッティングバー（ホワイト）を使用して、プレートの余剰部をおおまかにトリミングします。ニューデュラソフトPDは、硬／軟二重構造のプレートですので、軟層が歯肉側にくるようにプレスして下さい。

7.



上顎用デバイスのフックの位置（プロトルージョン量）は、TAP-T六角レンチを使用して調節することができます。

製作にあたっては、前もって1mm 前方へ調整しておくことをお勧めします。

8.



途中で回転が固くなった場合は、一度レンチを抜いて再度差し込み、少し逆回転をさせてから奥まで押し込むようにして廻して下さい。

ステップ8～17は、プリアッセンブルドキットを使用の場合は省略されます。

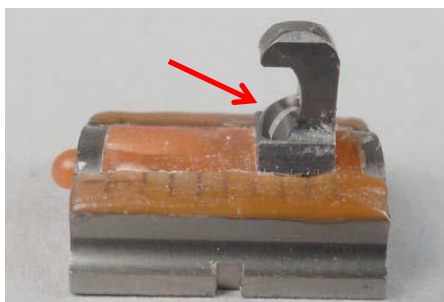
9.



レジンがネジ部分や調整用の穴の部分に入り込まないようにスティッキーワックスでカバーし、スカルペル等でならします。

レジンの変色を抑える為に、パラフィンを含まないワックスをお勧めします。

10.



即時重合レジン、フック内側の平らの部分に写真の様に築盛します。

即時重合レジンが築盛された状態。

11.



下顎用デバイスをフックに掛けた状態にします。フックを上方に押し付けるようにして固定し、レジンが硬化するのを待ちます。

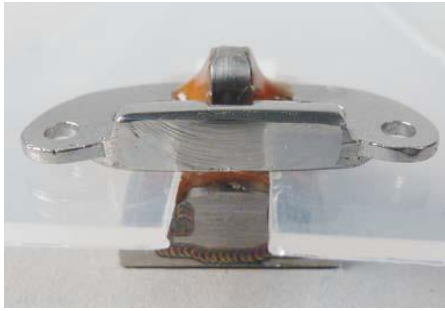
12.



フック部分にワックスを1滴垂らし、下顎用デバイスを安定させます。

固定された上顎用デバイスと下顎用デバイスの間にTAP-Tマウンティングデバイスを差し込みます。

13.



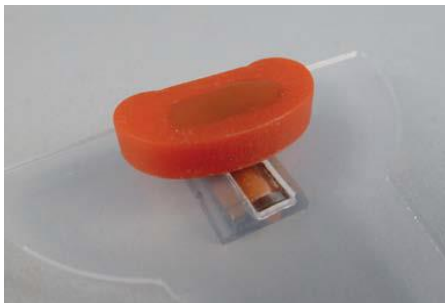
背面から見た状態。
下顎用デバイスが、上方向に押し付けられている。

14.



TAP-Tマトリックスを下顎用デバイス上にセットします。

15.



ワックスで穴部分を埋め、表面を平らにします。

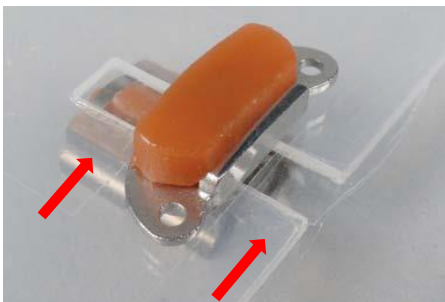
16.



ワックスが硬化したら、TAP-Tマトリックスを注意深く外します。ワックスに気泡が入っていないことを確認して下さい。

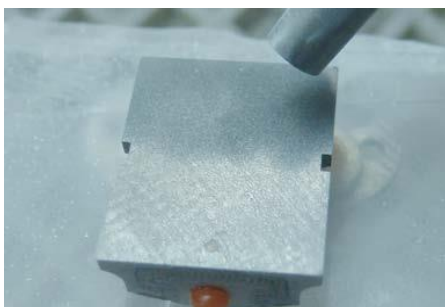
このワックスブロックは、フックの自由可動域を確保する役目を果たします。

17.



上顎と下顎のスプリントがレジンで合着することを防ぐために、マウンティングデバイスの切れ込み部分を、セロテープ等でカバーします。

18.



上顎デバイスの底面にアルミナ (50 μ m) によるサンドブラasting処理を施します。

19.



次にメタルプライマーを施します。

メタルプライマーを施すことにより、金属とレジンが強固に接着します。これらの間に隙間があると、装置の強度に影響する場合があります。

20.



必要に応じて下顎スプリントの側切歯間をトリミングして薄くし、より多くのスペース確保します。軟組織の少し下までを限度に慎重に行ってください。

下顎スプリントの強度を保つために、トリミングする際は舌側部分のみ行って下さい。

TAP-Tリバー製作の場合は、後述の説明に従って下さい。

21.



デュラソフトのスプリントと即時重合レジンの重合を確実にするため、モノマー液をスプリントの前歯部に施します。

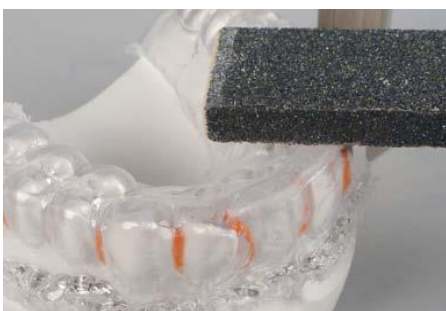
22.



ブロッキングアウトパテで小さい玉を二つ作り、上顎小臼歯部で、マウンティングデバイスを安定させます。

ポジショニングは、マウンティングデバイスが下顎前歯部に、またワックスのスペースホルダーが前歯の舌側部にそれぞれコンタクトしている状態にする事が重要です。

23.



上顎スプリント前歯部の切端部分をサンドペーパー等で少しだけ削ります。

24.



上顎用デバイス、下顎用デバイス、マウンティングデバイスを咬合面と正中を基準に合わせます。

TAP-Tリバー製作の場合は、後述の説明に従って下さい。

25.



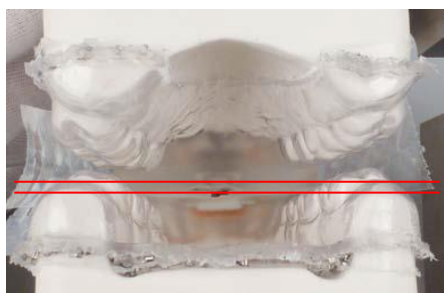
背面から咬合面と垂直的な位置関係を確認します。

26.



即時重合レジンを築盛する前に、セロテープ等で、マウンティングデバイスの上下、前歯部を覆います。

27.



即時重合レジン、マウンティングデバイスの上下それぞれ舌側部分に、金属製のTAP-Tデバイスを完全に覆うように築盛します。

上下のスプリントを合着させないよう、マウンティングデバイスを越えてレジンを盛らないように注意して下さい。

28.



模型をフィグゼーターから取り外します。

29.



30.



上下顎模型を、90度回転させるようにして注意深く分離します。

31.



築盛されたレジンの余剰な部分をトリミングし、
スプリントに付着したブロッキングアウトパテを
綺麗に落とします。

32.



それぞれのスプリントにつき、表面を全て覆うように
即時重合レジンを築盛してスプリントを強化します。

ブリアッセンブルキットを使用の場合は、上顎用デバイス
から白色のプロテクション・フォイルを取り外して下さい。

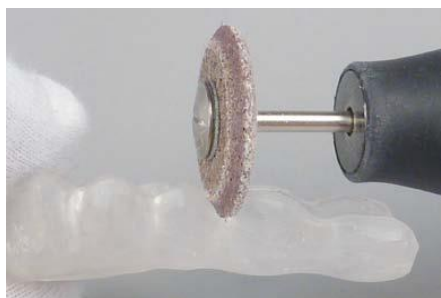
33.



研磨用ホイール、ディモ（コース）を使用して下顎用
デバイスの表面部分を注意深くトリミングし、デバイス
上のレジンを完全に取り去って下さい。

最大回転数： 10,000 rpm

34.



研磨用ホイール、ポリフィックスを使用して、辺縁を
整えます。
二重構造シートであるデュラソフトの剥離を防ぐため、
研磨は軟質部分→硬質部分の順で行って下さい。

35.



下顎用デバイスの下側の余剰レジンをトリミングし、
空隙部分が完全に現れるようにします。

推奨するバー

フィニッシングバー

オサムポリッシャー

36.



上下のTAPデバイスに、水平的、垂直的に十分な
可動域があることを確認します。

37.



下顎デバイス周辺にワックスが残っていると、十分な可動域が得られない場合があります。 その場合はワックスを注意深く完全に除去して下さい。

TAP-T リバースの製作

製作手順 1～21までは、TAP-Tと共通です。

38.



TAP-Tリバースは、調整用六角レンチを差し込む穴が、TAP-Tと違って舌側側についています。六角レンチは、舌側側から差し込んで調整します。

39.



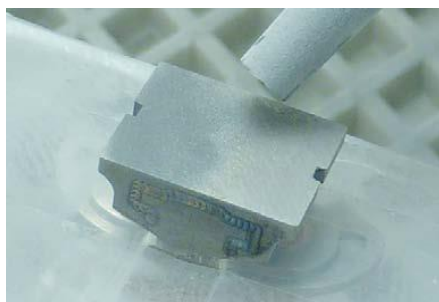
TAP-Tリバース上顎用デバイスを、できるだけ口蓋側にセットする為、上顎スプリントの左右中切歯間を、軟組織部までを限度に注意深くトリミングして薄くします。

40.



スプリントとレジンの重合を確実にするため、モノマー液をスプリントの舌側前歯部に施します。

41.



上顎デバイスの底面にアルミナ (50 μ m) によるサンドブラasting処理を施します。

42.



次にメタルプライマーを施します。

43.



ブロッキングアウトパテで小さい玉を二つ作り、
上顎小臼歯部で、マウンティングデバイスを安定
させます。

44.



45.



TAP-Tリバーズの上顎用デバイスは、咬合面と正中を
基準に、中切歯舌側面に位置します。
上下顎のスプリントの間には、マウンティングデバイス
のみが介在します。

46.



マウンティングデバイスの安定が悪い場合は、必要に
応じて、サンドペーパー等で中切歯の切端部分を少し
だけ削ります。

47.



マウンティングデバイスの安定が改善した状態。

この後は、ステップ26へ

